

事例に学ぶ方針管理の進め方

日科技連出版社 著:福原 證 ¥2,860(税込)



本書のご紹介

著者は、トヨタ車体(株)で20年近くTQMの推進に従事した後、製造業をはじめ、サービス業、卸売業を含む数多くの企業で、企業体質の強化に取り組んできた。著者の豊富な実戦経験と指導経験にもとづく「方針管理」の考え方・やり方を学ぶことで、読者は形だけの方針管理ではなく意義のある方針管理を実践できるようになる。本書は真に強い企業になるための処方箋である。

目次

第1章 良い仕事を考える

- 1-1 企業の最終目標は利益である
- 1-2 活動上の課題
- 1-3 機能別管理

第2章 良い仕事を測る(管理項目)

- 2-1 管理項目とは
- 2-2 企業体質を測る
- 2-3 管理項目の望ましい活用の仕方
- 2-4 管理項目の考え方
- 2-5 管理項目設定のメリット
- 2-6 管理項目活用の業務展開例

第3章 方針管理

- 3-1 維持と改善
- 3-2 日常管理と方針管理
- 3-3 マネジメントの3タイプ
- 3-4 方針管理はなぜ必要なのか
- 3-5 方針の設定
- 3-6 方針の進捗フォローと診断
- 3-7 方針管理のサイクル
- 3-8 方針展開の事例

第4章 方針管理の見直し

- 4-1 方針管理の重要性・有効性
- 4-2 方針管理を効果的に推進するための10ポイント
- 4-3 方針管理の注意事項30カ条
- 4-4 方針管理の見直しポイント

第5章 方針管理Q&A

- Q.1: 方針管理と機能別管理
- Q.2: 方針管理はトップダウン?
- Q.3: 方針管理とQCサークル
- Q.4: 固有技術と総合力
- Q.5: 方針管理と人財育成
- Q.6: 中間管理職の悩み
- Q.7: 技術開発段階の方針管理
- Q.8: 中長期方針の設定
- Q.9: 方針管理と旗方式
- Q.10: 企業文化
- Q.11: 方針管理の導入
- Q.12: 品質保証規則の編集
- Q.13: 管理項目
- Q.14: 会議体の役割
- Q.15: 方針管理が有効な業種
- Q.16: 2020年代の方針管理

著者紹介

1965年名古屋工業大学計測工学科卒業、同年トヨタ車体(株)入社。品質保証部、経営企画室(全社TQM推進)に従事。同社のデミング賞実施賞、日本品質管理賞の受賞に品質機能総括として貢献。1985年一般社団法人品質管理協会に転籍事務局長、指導相談室長として活躍。1996年有限会社アイテムツーワン設立。同年よりアイテックインターナショナルシニアコンサルタントとしても活躍中。